

[illegible]

1. 取り付ける

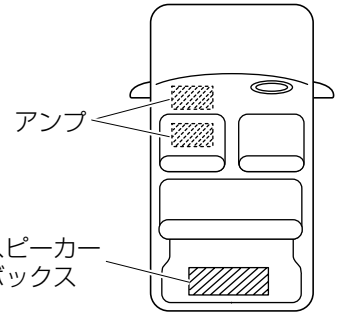
- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。

1 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、エンジンキーを抜く。
おおよそのレイアウトを決め、コードの長さが十分が確認する。

2 取り付ける。

●推奨取り付け位置

- アンプ
助手席のシート下か足元、またはフロア上への取り付けをおすすめします。
- スピーカーボックス
リアのラゲッジ・スペースへの取り付けをおすすめします。



●取り付け方法

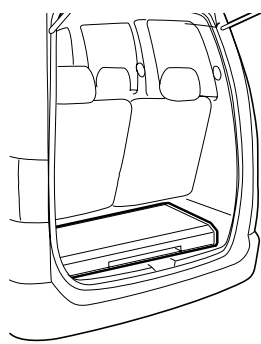
- 1 車への取り付け場所を決めます。
- 2 車への取り付けネジ位置に印をつけます。
- 3 ドリルで固定用ネジの下穴（★）を開けます。
★ スピーカーボックス固定用ネジの場合……………φ3.5mm
アンプ固定用ネジの場合……………φ2.5mm
- 4 付属ブラケットと付属ネジを使用し車に固定します。

警告

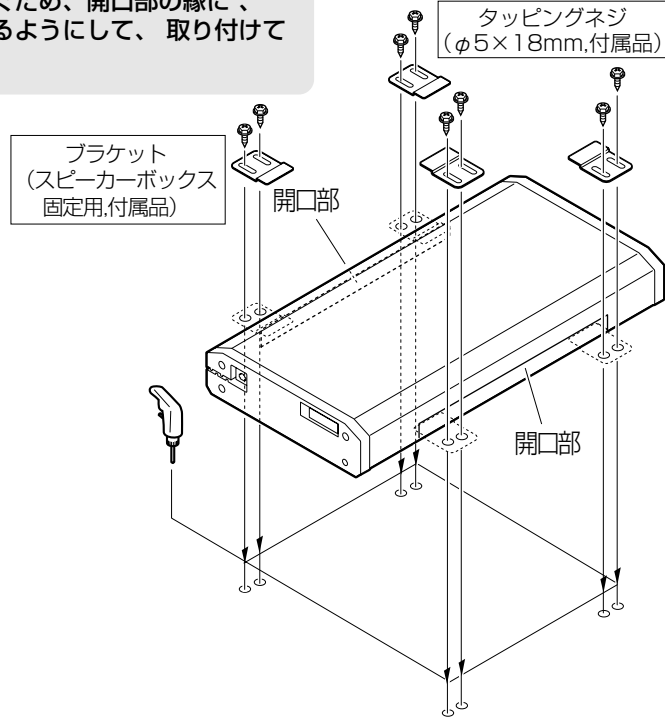
- 車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。
- 製品本体を固定する場合、必ず付属ブラケット、付属ネジを使用してください。

《スピーカーボックスの取り付け方》

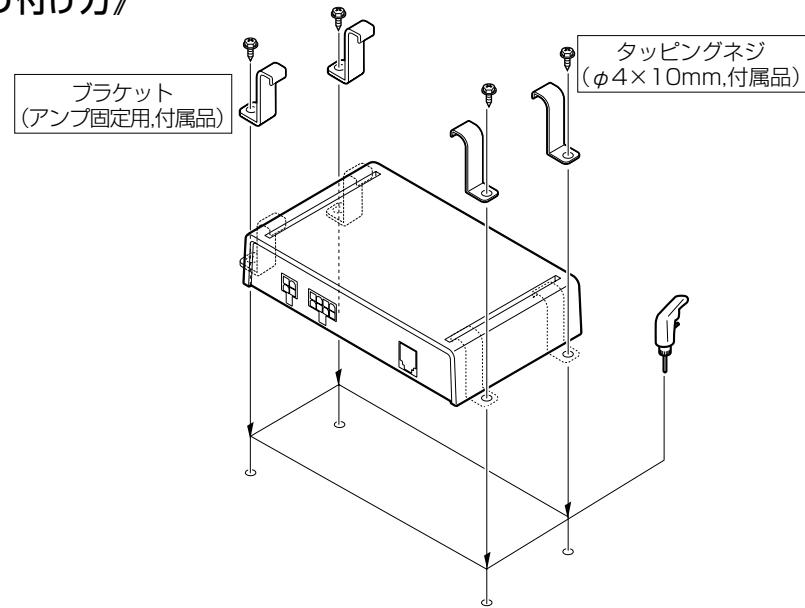
リアのラゲッジ・スペースに取り付けることで、豊かな低音が楽しめます。



* ブラケット（スピーカーボックス固定用）は、取り付けガタを防ぐため、開口部の縁に、しっかり押し当てるようにして、取り付けてください。

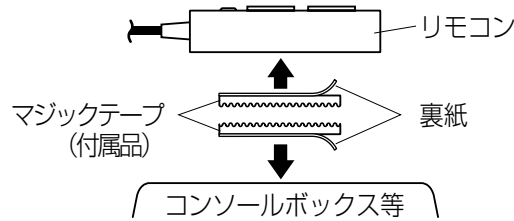


《アンプの取り付け方》



●リモコンの取り付け方法

- リモコン底面にマジックテープのやわらかいほうを貼ります。
- 取り付け位置（コンソールボックス等）にマジックテープのざらざらしたほうを貼ります。



警告

- 助手席エアバッグの近くにリモコンを取り付けない。不適切な取り付けをしますと、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで部品が飛ばされ、事故・ケガの原因になります。
- ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所には、取り付けない。事故・ケガの原因になります。

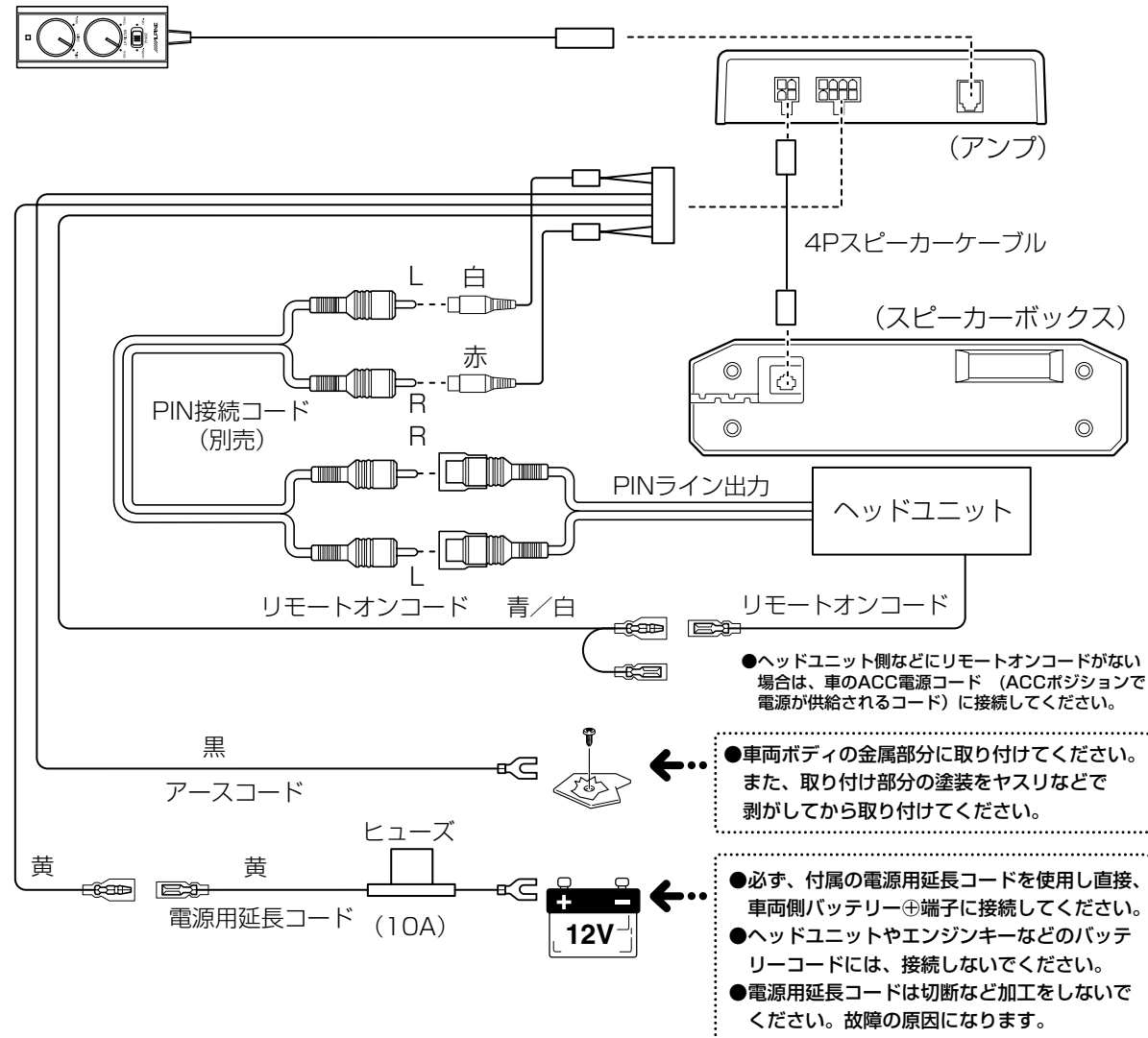
2. 接続する

- 接続は、車の電装系が理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続前に接続先をチェックしてください。

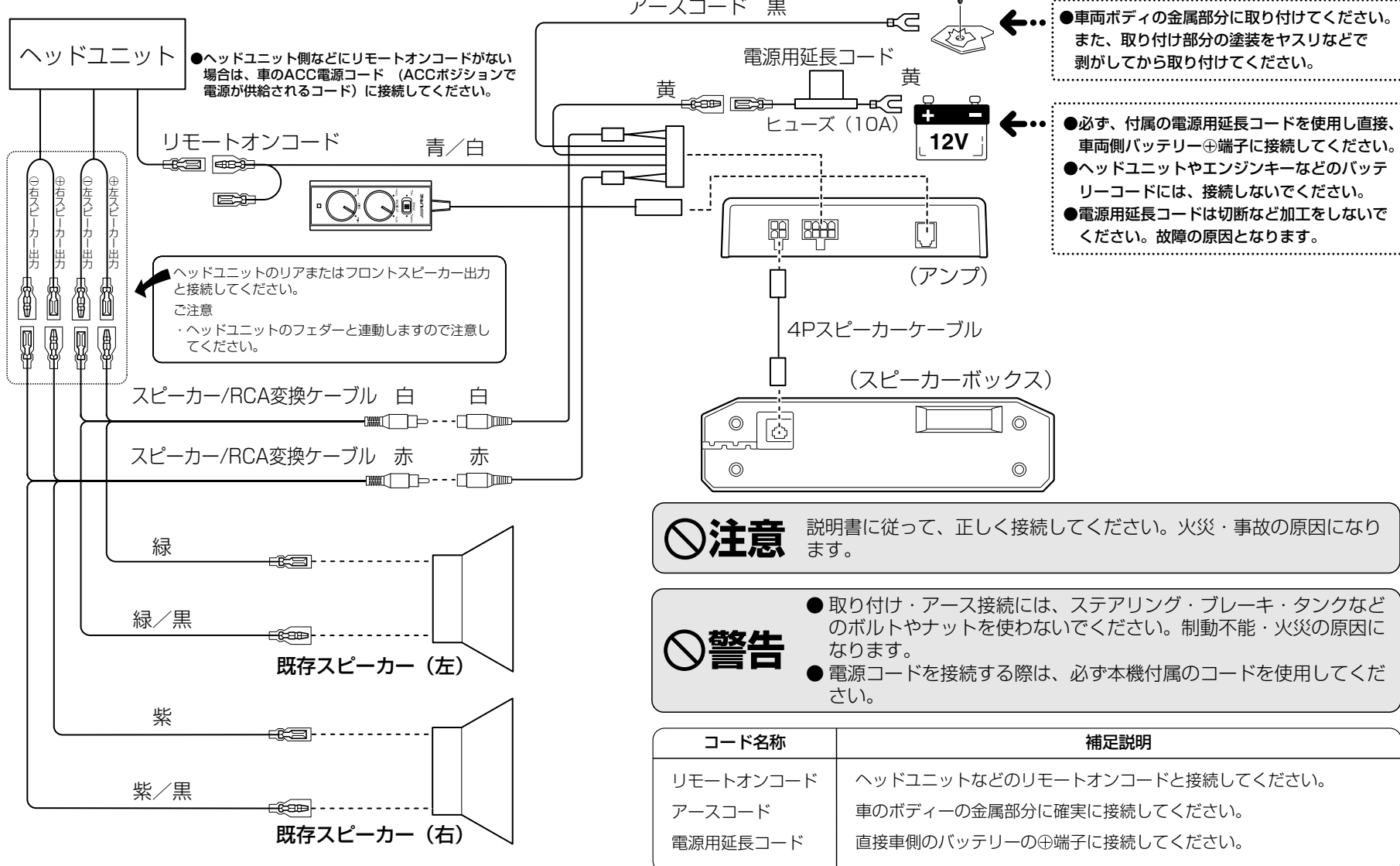
1 バッテリー⊖端子を外す。

2 接続する。

●PIN入力接続の場合



●スピーカー入力接続の場合



3. 確認する

1 コード類を固定する。

注意

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当たったりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

2 バッテリー⊖端子を接続する。

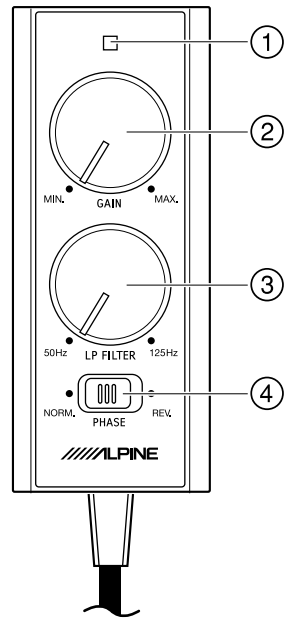
3 エンジンキー／カーオーディオ電源をONにして、本機の動作が正しいこと（音が正しく出ているかなど）を確認する。

4 ホーン／ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

4. 調整する

●過大入力に注意

音が歪（ひず）んだり、異音（ボコボコ、ベコベコという音）が出るような状態ではスピーカーへの入力が大きすぎます。（過大入力）
スピーカーに過大入力続けると、性能が落ちたり、壊れたりしてしまいます。
過大入力にならない範囲でご使用ください。



- 1 パワーインジケーター : 電源ONで点灯します。
- 2 入力感度調整ボリューム（GAIN） : 音の大きさを調整するノブです。MINにすることで小さくなります。
- 3 ローパスフィルター周波数切替（LP FILTER） : 音の再生帯域を調整するノブです。他のスピーカーとのバランスを調整することができます。
- 4 位相切替スイッチ（PHASE） : 音の遅れを調整するノブです。他のスピーカーと音のタイミングを合わせることができます。正相（0度、NORM.）と逆相（180度、REV.）を切りかえられます。

●アルパインが推奨する調整方法

- 1 入力感度調整ボリューム（GAIN）をMIN、位相切替スイッチ（PHASE）をNORM.、ローパスフィルター周波数切替（LP FILTER）をセンターに設定してからシステムの電源をオンにする。
- 2 ヘッドユニットなどのTREBLE、BASSをセンターの状態にして、音量を普段聴いている大きさにする。
この時の音楽ソースとしては、普段聴いているものを使うと調整がやりやすいでしょう。
- 3 入力感度調整ボリューム（GAIN）をMINからゆっくり回し、システム全体でバランスがとれる位置まで入力感度調整ボリューム（GAIN）を調整する。
入力感度を上げすぎると音が歪むときがあります。
また、ヘッドユニットの音量が大きくても音が歪むことがあります。
他のスピーカーからも歪みが出ていないか確認しながら調整を行ってください。
スピーカーシステム全体が歪んでいるような場合は、ヘッドユニットの音量を小さくしてください。
- 4 ローパスフィルター周波数切替（LP FILTER）を調整し、他のスピーカーとのバランスが最良となるポイントに調整する。
- 5 LP FILTERの設定が変化すると、音量も聴感上変化します。手順3、4を繰り返し行い、最良のポイントに調整する。
- 6 位相切替スイッチ（PHASE）で位相を調整する。
スピーカーの取付位置、車の形状によって位相の最良となるポイントは異なります。他のスピーカーと本機の音が最も大きくなる方を選んでください。
運転席に座った状態で、NORM.（正相）の位置とREV.（逆相）を切りかえてみて、良い方を選びます。